

研究情報

平成 20 年度

ナメコ品種「新潟森研 P n 1 号」の栽培管理技術		
[要約] 新潟県産ナメコ品種「新潟森研 P n 1 号」について、菌床栽培技術の開発を行い、栽培管理技術を工程毎にマニュアル化した。		
森林研究所 きのこ・特産課	連絡先	TEL : 0254-72-1173 FAX : 0254-72-0019

[背景・ねらい]

当県の平成 18 年ナメコ菌床栽培生産量は 3,701 トンで、長野県に次いで全国第 2 位である。ナメコ菌株は変異が起こりやすく、危険分散を図るために複数の種菌を組み合わせで使用しているのが現状である。そのため、産地から当県独自の優良種菌開発について要望があり、「新潟森研 P n 1 号」を選抜した。

平成 18 年に品種登録出願した「新潟森研 P n 1 号」について、当所での栽培試験および生産者への委託による栽培試験から、工程毎の栽培管理技術を確立し、マニュアル化を行い、より高品質で安定的なナメコの栽培に向け生産技術を普及する。

[成果の内容・特徴]

- 1 「新潟森研 P n 1 号」は、県内在来品種の自家交配菌株と選抜野生菌株（平成 11 年採取）を交配し、作出した品種である（写真 1）。平成 18 年 3 月に品種登録出願を行った。
- 2 「新潟森研 P n 1 号」は他の品種と比較して、菌傘が厚く、菌柄が太い。また肉質が軟らかく、ソフトな食感が特徴である。
- 3 菌床栽培マニュアルでは、培地調整から収穫までの各栽培段階における栽培ポイント、注意点を、森林研究所での栽培試験、ナメコ生産者への委託栽培を参考にして記載した（表 1）。また、栽培過程で気付いた点等をメモする欄を設けた。

[成果の活用面・留意点]

- 1 今回のマニュアルについては、今後の試験や栽培現場等での意見を取り入れ、随時加筆修正していく予定である。
- 2 今後、生産者の意見を参考として、優良な品種開発を目指す。

[具体的データ]



写真1 「新潟森研 P n 1 号」

表1 「新潟森研 P n 1 号」の各工程における栽培ポイント

栽培工程	栽培環境	栽培ポイント	所要日数
培地調整		培地基材：広葉樹おが屑＋コーンコブミール (おが屑：コーンコブミール＝7：3) 添加栄養材：フスマ(乾燥オカラ混合も可能) 培地水分率：65%程度	1日
殺菌		高圧殺菌：121 で1時間程度	
接種		種菌接種量：20cc/ピン程度 (平らに均一に接種する)	1日
培養	温度：18～20 湿度：65～70% CO ₂ 濃度：2,000ppm程度		70日前後
発生処理		培地表面の菌糸を水道水でとばす。 培地表面に菌糸塊が確認された場合、菌掻き。 菌掻き後、2時間程度の注水が効果的。	1日
生育初期	温度：16～17 湿度：95%以上 CO ₂ 濃度：4,000ppm以下	菌糸膜形成後、照度 200ルクス程度の光を1日8時間照射。 原基がマッチ棒大になったら、13～14 まで温度を下げる。	18日前後
生育後期	温度：13～14 湿度：95%以上 CO ₂ 濃度：4,000ppm以下	照度 100ルクス程度の光を1日8時間照射。 収穫2～3日前には温度を12 以下まで下げ、生育期間を延ばす。	

[その他] 研究課題名：エノキタケ・ナメコの高品質品種の開発とその栽培技術の開発

予算区分：国補

研究期間：平成16～20年度

発表論文等：